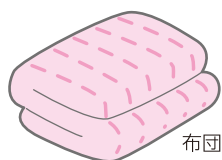
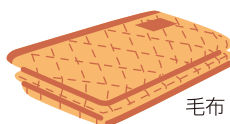


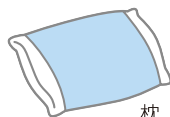
寝具類



布団



毛布



枕



座布団

出し方

- ★布団や毛布は長さ1m以内にたたんでひもでしばって出してください。
- ★座布団など一度に複数枚出す場合は、重ねてひもでしばって出してください。

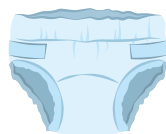
枝、剪定くず



出し方

- ★透明または半透明の袋に入れるか、50 cm程度に切りひもでしばって出してください。

その他



おむつ



花火



マッチ

出し方

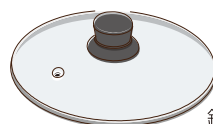
- ★汚物は取り除いて出してください。
- ★花火、マッチ等引火性のあるものは、しっかりと水分を含ませて出してください。

出せないもの

- 新聞紙・ダンボール・雑誌・雑紙は資源としてリサイクルできますので燃えるごみに出さないでください。
- 紙パックのうち、中がアルミ箔ではないものは資源としてリサイクルできますので燃えるごみに出さないでください。
- カーペットやマットレスは粗大ごみ（年3回）に出してください。
- 燃えるごみの対象品目であっても、事業で使用していたものは事業系一般廃棄物に該当するため、燃えるごみに出せません。事業者の責任において処理するように法律で定められています。

複合製品の出し方

商品が多様化する中で、プラスチックと金属など複数の素材によって出来ている製品がたくさんあります。素材ごとに分別できる場合は分別して出してください。分別できない場合は、素材の割合が多い方の分類にて出してください。



鍋のフタ

プラスチック部分よりもガラス部分の割合が多いため、燃えないごみに出す。



木と金属でできたハンガー

3きり運動

- 「3きり運動」とは、生ごみの減量化、生ごみの発生抑制のために行う下記の3つの行動の語尾をとって「3きり活動」と言います。

水切り

生ごみはその70%～80%が水分と言われており、水分を多く含むことから焼却処分するのに多くのエネルギーが必要となります。多くのエネルギーを使用することは環境や焼却施設に負担をかけることにつながります。また、生ごみの水分量を減らすことにより、環境配慮以外にもゴミ出しを行う際の重量の軽減、悪臭の抑制につながります。

使い切り

「使わないうちに賞味期限が切れ、そのまま捨ててしまった。」というような経験はありませんか？ お買い物に行った際に、安いからといってあれもこれもと食材等を買うのではなく、お買い物前に一度、冷蔵庫等のチェックをした上で、必要な分だけ購入し、無駄な廃棄を無くしましょう。無駄な廃棄を減らすことは無駄な出費を抑えることにもつながります。

食べきり

食べ残しがでないように作りすぎには注意しましょう。また、自宅だけではなく外食する際もあれもこれも食べたいと思いたくさん注文するのではなく、できる限り食べ残しがでないように注文しましょう。

